

西成特区構想におけるアートの可能性

若手アーティストを誘致し、経済活性だけを目論むのはもったいない。
もし、ジェントリフィケーションが起こってしまったら、。
土地の値段があがり、そこに住んでいた貧しい人々は住めなくなる。
→うっかり、アートで振興してしまうのは、もったいない。

アートはいろんな可能性をもっている

アートは具体的な社会包摂の手法をもっている

つなぐ

あたらしい人や考え 価値にであう

考える

自己肯定力を高め、回復する

表現する力を高める

表現を受けとめる力を高める

対話がうまれる

友達ができる

生き甲斐ができる

仕事がうまれる

創造する生き方/働き方がうまれる

地域資源の再発見

できるかもしれない、、、

●クリエイティブ・シェア/アートセンターを開設

トータルケアセンターのなかに、設置

カフェ、アトリエ、スタジオ、劇場スペース、事務所において、いろんな人が活用できる場とする

●地域にクリエイティブ・シェア拠点の設置

地域に、さまざまなジャンルのアートの拠点（カフェや居場所、作業所など）を点在し、それらをむすぶネットワークを形成
地域住民や地域外から訪れる人たちの交流の場に

●アーティストのレジデンス+交流拠点

ドヤやマンションを活用し、アーティストが滞在し、起居し、活動する
地域や社会との、アートの交流の場も設置する

●ニシナリ（あいりん）・国際アートフェスティバルの開催

地域資源を活用し、国内外からのアーティストを招聘し、地域住民も主体的に参加する大規模なアートフェスティバルを開催する

もともと、あいりんは多くのアーティストを魅了してきた

ポテンシャルが高い→このまちは、アートに影響をあたえる力をもっている

先駆的なアートの取り組みがこのまちで行なわれれば

アートによる社会包摂のモデル化

まちとのあいによって、新しいアートが生まれる

→じわっと、観光に

→じわっと、減災に

→じわっと、経済活性に

→じわっと、まちづくりに



効いてくるかも